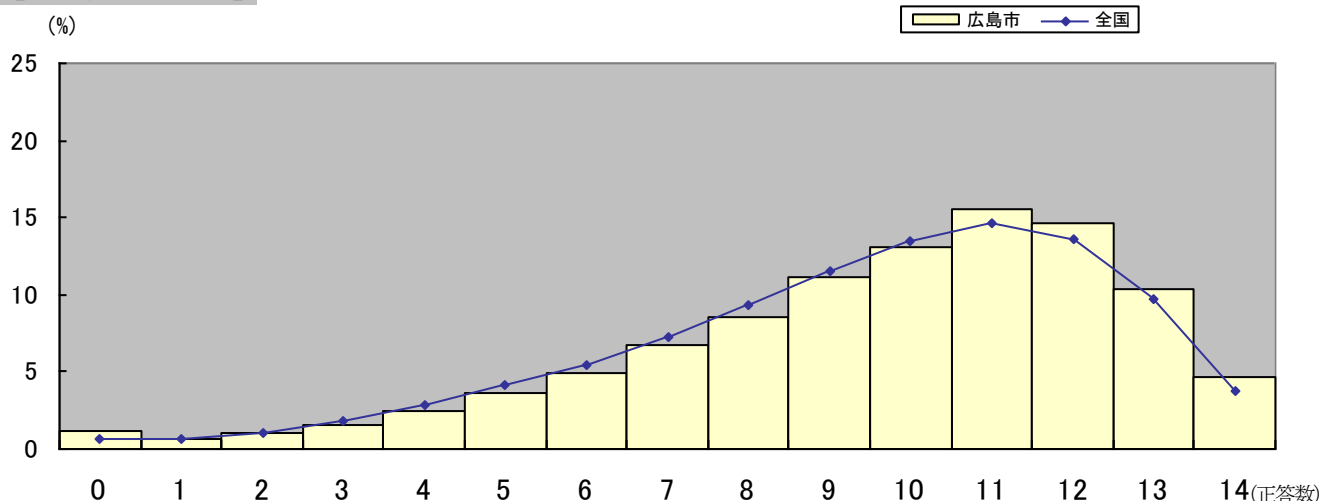


2 各教科の調査結果の分析及び考察

【小学校国語】

国語

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の内容ごとの定着状況】

学習指導要領の内容		平均正答率(%)	
		全国	広島市
教科全体		67.2	68
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2	72.1
	情報の扱い方に関する事項	63.4	64.9
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	72.6	74.1
	書くこと	26.7	27.8
	読むこと	71.2	72.5

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	68.9	70.0
思考・判断・表現	65.5	66.8

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	73.6	74.8
短答式	62.7	64.3
記述式	51.1	52.0

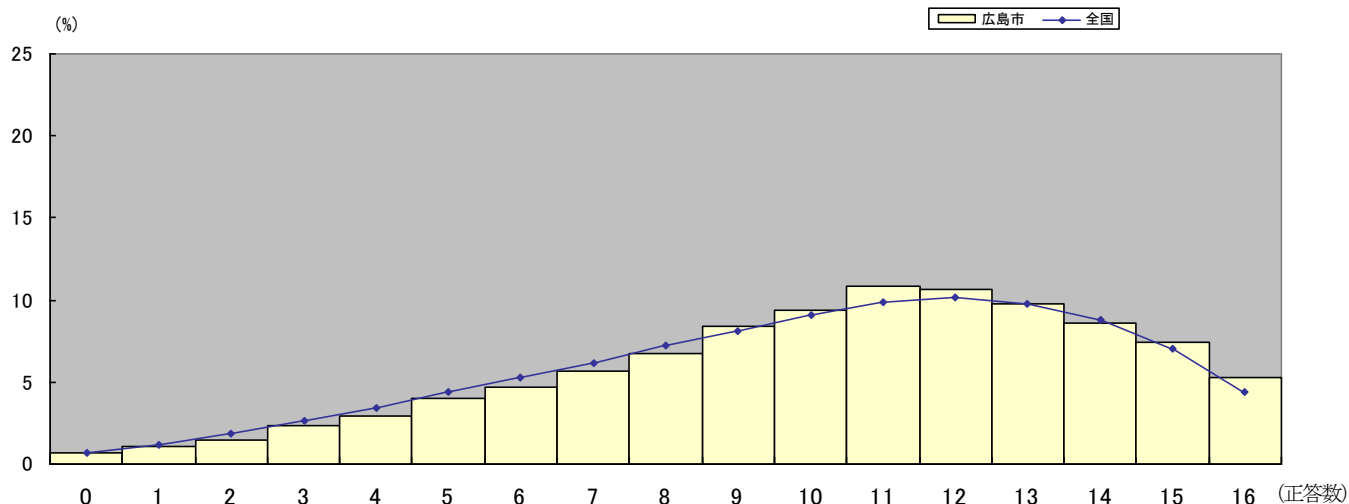
定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」については、平均正答率がそれぞれ 72.1%、64.9%で、学習内容はおおむね定着していると見られる。
- ◆ 思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」、「読むこと」については、平均正答率がそれぞれ 74.1%、72.5%で、学習内容はおおむね定着していると見られる。
- ◆ 思考力、判断力、表現力等「書くこと」については、平均正答率が 27.8%であり、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること（正答率 27.8%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや上回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国平均をやや上回っている。

【小学校算数】

算数

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の領域ごとの定着状況】

学習指導要領の領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	62.5	64
数と計算	67.3	68.6
図形	48.2	49.8
変化と関係	70.9	72.3
データの活用	65.5	67.5

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	67.2	68.9
思考・判断・表現	56.5	57.9

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	57.7	59.8
短答式	74.7	76.0
記述式	47.3	48.4

定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 「数と計算」、「変化と関係」、「データの活用」については、平均正答率がそれぞれ68.6%、72.3%、67.5%で、学習内容はおおむね定着していると見られる。
- ◆ 「図形」については、平均正答率が49.8%であり、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること（正答率20.8%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや上回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国平均をやや上回っている。